

古いポラロイド写真が出てきました

アトム福大前 2020年02月04日 第47号

VIEW通信



●お店の引き出しから古いポラロイド写真が出てきました!・・・お店の引き出しを整理していたら古い封筒にポラロイド写真が数枚入っていました。「アツこれももしかしたら!・・・」もう何十年も触っていなかった封筒ですが、33年前の開店当時の写真が入っていたのです。引き出しの中なので日には当たっていなかったのですが、相当暗くなっていて写っている人が誰だかわかりません。パソコンのソフトにフォトタッチソフトというものがあって、スキャナで取り込んでパソコンで全体を明るくしたらやっと見えてきました。(下へ)

■20坪の店内にぎっしりオーディオ製品を展示していたようです。左の学生は確か「稲ちゃん」、右の二人は「原賀君と古野君」今ではもうしっかりおじさんです



なんとその当時福大生だった学生が写っていたのです。福大の前にオーディオ専門店として新装開店したのが1987年9月12日、私が36歳でした。ということは写っている当時の学生たちは、もうすでに55歳になっているということです。

当時は昭和のバブルの最盛期、学生たちも就職先は選り取り見取り、アルバイトもたくさんあり、夏休みや春休みで肉体労働をして稼いだ大金を握りしめてオーディオを買いに来るのです。福大の周りには当店のようなオーディオ専門店がなんと10数店あり、学生をターゲットにしていました。その中でも一番新参者だった当店は、幸い当時好景気だったオーディオメーカーのパイオニア・SONYビクター・三菱ダイアトーン・DENON等から手厚い応援を受け、一躍上位ランキングのお店になったのですが、数年後にあのバブル崩壊の憂き目にあい、それ以降学生がオーディオを奪い合って買っていきようなことは終わってしまったのです。たくさんあったオーディオ店は今ではすべて消え、今でもかろうじて残っているのが家電店に様相を変えた当店とベスト電器片江店だけなのです。

■1987年9月12日新規オープン当日の写真でした! ■止まっている車も古い。看板はネオンでした。■床のかごはカセットテープ。左は山積のカセットデッキ



●他にもたくさん写真が出てきて・・・皆さんも同じだと思いますが、片づけている最中に昔の写真とか出てきたらもうダメ! 見入ってしまって仕事になりません。若い時の写真を見て今との肌つやの違いにため息をついていたら、30年前のボーリング場を借りての展示会の写真が出てきました。当時は古いブラウン管テレビや大きなプロジェクションテレビが主流で、VHSビデオデッキが多数展示してあります。でもその値段にびっくり! 「会場特価」とは書かれてありますが、テレビは大型で288,000円。中型でも258,000円と書いてありました。ビデオデッキは99,800円の山積みが「完売! しました」と書かれています。30年以上前の家電品の価格を、私自身もすっかり忘れてしまっていて、昔はこんなに高い商品でも飛ぶように売っていたんだなとしみじみ思いました。「失われた30年」と近頃よく言われますがまさにその通り、これでは世の中から町の電気屋さんが姿を消したのも無理はないし、たくさんあった国内のオーディオメーカーをはじめ、優秀な日本の家電メーカーが姿を消していったのも仕方ないかと、改めて残念に思えてきました。そしてそんな中33年間、自分でもよく続いてきたなあ・・・と感慨深く思えてきたのです。

■七隈ファミリーボウルを借り切ったの展示会。3日間、ボーリング場の朝のオープンから深夜の閉店まで、オーディオを中心に家電品まで大量展示していました。



●かなり色あせたポラロイドの中に、たしか学生が撮ってくれたと思われる私の写真がありました。30代後半、このころは、重たい冷蔵庫も、屋根の上の作業も、なんなくやっていたと思います。かなり仕事のペースは落ちてきましたが、まだまだお役に立てよう頑張ります! 清田良平

■若かりし頃の自分です! はずかし〜!

